

6月

No.156

お父さん・お母さん・生徒さんへ・・・

山本学習塾からのお知らせ

R7年5月25日

6月に入り、ジメジメした季節が続きます。大きなイベントもなく、気が緩みやすいこの時期。でも、ここでの過ごし方が大切です。毎日30分の勉強を続ければ、1カ月で約10時間。何もしない人との間には、取り返しのつかない差がつきます。遊びたくても疲れていても、やるべきことから逃げないこと。今の積み重ねが、期末テストの結果を決めます。後悔しない選択を。

☆6月の予定☆

6/9(月)～14(土): 塾内テスト
6/2(月)～6(金): 中2トライやるウィーク
6/下旬: 期末テスト対策
☆☆☆☆塾夏休みについて☆☆☆☆
8月11(月)～16(土)を予定しております。変更があればお知らせします。
夏休みの計画にお役立てください。

中間テストの振り返りを

中間テストは納得できる結果を得ることができましたか?どこを間違えたのか、なぜ間違えたのかを毎回確認して、次は同じミスを繰り返さなければ、点は必ず上がります。それが成長であり学習です。期末テストはすぐにやってきます。休むことなく早めに準備を進めましょう。

★今村先生のつぶやき★

あなたは、「勉強しなければいけない」とわかっているのに、ついつい他の楽しいことに手を出してしまうことはありませんか?かつてマルクスという思想家は、「意識が生活を規定するのではなく、生活が意識を規定する」と述べました。この言葉の意味をあなたに当てはめて解釈してみましょう。少し厳しめな言葉が出てきますがご了承ください。

まず、多くの人は「自分の意思で身体を動かし、生活の中にあるものを思い通りに操っている」と思い込んでいます。しかし、現実はその逆で、自分の周囲にある生活物資——ゲームやスマホ、テレビなど——に、私たちの意思そのものが操られているのです。だからこそ、ゲームが好きな人の生活の周りにはゲームがあり、テレビが好きな人の周りにはテレビがあり、SNSをハمار人の手にはスマホがあるのです。

人は、自分の意思でそうなっているのではなく、生活環境によって、つまり身の回りの生活物資によって、そのように行動させられているのです。「人は自分の意思で行動を決めている」というのは、「自分がすべての中心だ」と思い込みたがる、人間の愚かで傲慢な幻想にすぎません。

あなたがゲームをやめられないのを、「意思が弱いから」とか「気合が足りないから」などといった、目に見えない曖昧なもののせいにしても、何の解決にもなりません。あなたが勉強に集中できないのは、意思が弱いからでも、性格の問題でもありません。単に、ゲームやスマホといった“モノ”が身近にあるから、そうさせられているだけです。周りの人たちは気持ちを入れ替えろと言いますが、本気で変わりたいなら、意識ではなく生活を変えるべきです。

ゲームを片付けましょう。スマホを家族に預けましょう。勉強の妨げになる友人がいれば距離を置きましょう。そうすることで初めて、あなたの意識も行動も変わっていきます。

人は、自分の意志で行動していると思いたがりますが、実際には環境に操られているのです。

だからこそ、意識を使って意識を変えようとするのではなく、生活を変えて意識を変えるべきなのです。

今、あなたが本当にすべきことは勉強のはずです。この言葉が、あなたの背中を押すきっかけになれば幸いです。